

硫黄島戦没者遺骨収集について

1 戦没者概数及び遺骨送還数

- ・ 戦没者概数 21,900 人
- ・ 遺骨送還概数 8,660 柱

2 これまでの経緯

- (1) 遺骨収集は昭和27年より開始し、生還者等からの情報によれば、地下壕口は1,000ヶ所と言われていたが、これまで1,158ヶ所の壕口を開口し、計72回の遺骨収集を行ってきた。
- (2) 年々、遺骨の発見が困難になってきたため、平成15年度から現在まで、硫黄島の外周を反時計回りに東部から西部にかけて計画的に区分し、よりきめ細かに地表面を調査し、遺骨収集を行ってきた。

3 方針

- (1) 遺族会、硫黄島協会（戦友会）、島民の会、JYMA（旧青年遺骨収集団）などの団体の協力を得ながら、島西部の地域において、引き続き調査・収集を実施する。
- (2) (1)と併せ、平成21年度以降の実施区域については、以下の区域を重点地点として計画を策定する。
 - ① 北飛行場周辺及び千鳥空港場周辺の「ねむの木」群生区域
 - ② 米国からの情報による埋葬地
 - ③ 空港立ち入り禁止区域
- (3) 空港立ち入り禁止区域については、壕や埋葬地を特定するため、空洞探査を実施する。